

高校教師、 南極へ。



第61次南極地域観測隊同行 県立守谷高校教諭

北澤 佑子さん

教員としてただ一人、南極地域観測隊に同行

第61次南極地域観測隊の同行者に、市内木戸出身の北澤佑子さんが選出されました。今回の観測隊では唯一の教員で、茨城県が南極へ教員を派遣することも初めてのことで、北澤さんが表敬訪問のため須藤茂市長を訪れ、現地での活動について対談を行いました。

市長…長い歴史のある南極地域観測隊の一員に、筑西市出身の北澤先生が選出されたことを、大変誇らしく思います。

先生が南極に行くのは現地の夏とは言え、非常に厳しい環境かと思えます。先生は、どうして南極に行こうと思ったのですか。

北澤…筑波大学院のときに、過去に南極地域観測隊の隊員であった教授の講義を受け、南極の映像を見せてもらい「教員南極派遣プログラム」というものがあることを知り、いつか自分も行ってみたいという気持ちになりました。

教師になり、南極について調べていくうちに「南極は人間も科学も育てる場所」ということを知り、人間を育てる立場の教師として、行ってみたいという気持ちで選考を受け、3回目の挑戦でようやく

実現しました。市長…夢を目標に変え、それを実現することは本当にすばらしいことだと思います。

校長先生や県教育委員会の許可、いろいろなハードルがあり、それを乗り越えてのことでしょうね。

北澤…校長先生や守谷高校の生徒たちも、応援してくれています。全校集会で報告させてもらったときも、生徒たちがとても喜んでくれて、関心の高さを感じました。

南極に行った人たちは、みんな何かしら「熱い魂」のよなものを持っているのです。その魂を自分でも勉強して、生徒たちに持ち帰りたいです



南極地域観測隊とは？

昭和 32 年に第 1 次隊が南極にたどり着いてから、60 年以上活動が続ける日本の観測隊。昭和基地を拠点に活動し、南極の天文・気象・地質・生物学の観測を行う。

第 51 次隊から、全国の小中高等学校の教員が同行。北澤さんは第 61 次隊として現地に向かい、現地からインターネット中継でライブ授業を実施する予定。

北澤先生のスケジュール

令和元年

11 月下旬 オーストラリア、フリーマントルで南極観測船「しらせ」に乗船

令和 2 年

1 月 南極到着

1 月 25 日 (土) ミュージアムパークに向け、ライブ中継で授業を実施予定

1 月 27 日 (月) 守谷高校に向け、ライブ中継で授業を実施予定

3 月上旬 南極を出発

3 月下旬 日本に帰国



オーストラリア
フリーマントル



国立極地研究所提供



南極観測船「しらせ」



南極大陸

昭和基地



国立極地研究所 提供

命と真摯に向き合い、南極地域観測隊の「南極魂」を生徒たちに伝えたい。

ね。
市長・観測隊の熱い気持ちを、生徒さんたちに伝えていたかったです。北澤先生の、これからのスケジュールと現地での活動について教えていただけますか。

北澤…11月に、オーストラリアから南極観測船「しらせ」に乗り、1か月半かけて南極に向かいます。1月に昭和基地に到着し、基地周辺でいろいろな研修を受け、観測隊の人たちに同行して、設営・観測の勉強をさせてもらいます。

北澤…実は、私には難病の妹がいて、必死に生きる妹の姿から、私は命をどう大切に生きていくかを真摯に考え、本気で生きる力を学びました。だから、生徒たちには、夢を叶えたいと思ったなら、悩むこと

からこそ観測隊が命を張っているということを、ありのまま伝えたいです。
市長…生き物が生きるには過酷な場所だからこそ、命の尊さを学ぶことができるのでしようね。

北澤…子どもたちに言いたいことは、私たちは目には見えない人と人とのつながりの中で生きているということを感じてほしいということですね。人と人との縁に感謝して、一日一日を大切に生きてほしいです。

1 月 25 日 (土) には、ミュージアムパーク (茨城県自然博物館) で一般の人たちに向けて、また、1 月 27 日 (月) に

守谷高校の生徒たちに向け、現地から生中継で授業を行う予定です。
市長…どのような授業を行うのですか。
北澤…まだ内容は未定なのですが、せっかくのライブ授業

なので、標本などではなく目の前で動物が動く様子を伝えたいですね。できれば、魚釣りをしてほしいです。
南極には生き物はいないと思っている人もいるので、南極の海は豊かで、海が大事だ

北澤…素敵なお話をありがとうございます。最後に、筑西市の子どもたちに向けてメッセージをいただいてもよろしいですか。

いろいろな考え、価値観がある中で、共に生きる社会だからこそ、相手を理解しようという素直な気持ちがとても大切かと思えます。
市長…さまざまな人が共存できる社会を創らなければならぬという気持ちは、私も一緒です。健康に留意され、にこやかに帰ってきてくれるのをお待ちしております。